

第5回日本栄養改善学会東海支部学術総会が、2016年6月25日に金城学院大学で開催されました。

18題の研究成果が一般演題で報告されたほか、特別講演の大学法人金城学院理事長・学院長である戸苅創氏による「新生児の栄養発達の神秘と疾病」と市民公開講座の国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所、国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部食事摂取基準研究室長である笠岡（坪山）宜代氏による「災害支援における管理栄養士・栄養士の課題や支援方策について」を、100名近い参加者が聴講しました。

昼食時間帯には情報交換会が企画され、参加者は情報発信や意見交換を行いました。

講演・講座、一般演題報告や情報交換会でのディスカッションにより、東海地区の人々の栄養学と健康科学の学術研究の進歩に貢献する知識を醸成する一日となりました。